

缶詰食品中の BPA の安全性について科学に耳を傾けなさい

BY STEVEN HENTGES, PH.D ON JUNE 3, 2015 IN INDUSTRY

数十年間に亘り、食品や飲料缶の保護コーティングとして BPA ベースのエポキシ樹脂が安全に使用されている。このコーティングは紛れもない脅威である食品の汚染や食中毒を防ぐのに役立っており、エポキシ樹脂はこの重要な役目に役立っている。

最近の環境活動組織が発表した最近の報告書の内容に反し、エポキシ樹脂保護コーティングを含む食品接触材料中の BPA の安全性は、強固な科学的実績によって裏打ちされている。

例えば、2015 年 1 月に、[欧州食品安全機関: European Food Safety Authority \(EFSA\)](#) は、「(胎児、幼児、思春期の子供を含む)全ての年齢層に対して、現状暴露レベルでは BPA は消費者への健康リスクはない。」と結論を下した。

同様に、2014 年 11 月に [<米>食品医薬品局: U.S. Food and Drug Administration \(FDA\)](#) は、「最新の安全評価に基づく FDA の現在の見方は、食品中の BPA が現状レベルでは BPA は安全である。」と結論づけている。

もし、あなたが科学に耳を傾けるならば、エポキシ樹脂の優れた性能は BPA の安全性と相俟って魅力的な話である。しかし、それはあなたが耳を傾け、全ての人がそうする訳ではない場合のみである。

今週、Environmental Working Group (EWG)は、科学を無視して「缶詰食品中の BPA: ブランドのカーテンの後ろで」と題したレポートを発表した。積極的な資金調達運動により、レポートは 35 年に亘り食品の安全性を守ってきた実績を持つエポキシ樹脂缶コーティングをやめさせるよう缶詰食品産業に対して市場圧力をかけようとしていると思われる。

彼らが資金調達には触れずに、今後長期に亘り確実に圧力をかけ続けるため、EWG はこうも述べている。「国民は BPA 使用材料よりも BPA 代替品の方が安全であると保証しようと化学品や食品添加物を規制する現行の連邦法は信頼できない。」 BPA 代替品を検討されている主な理由が EWG のようなグループのためであるので、EWG の BPA 代替品の安全性に関する質問は非常に皮肉だ。

雑音を避け、科学に耳を傾けよう。FDA は「BPA は安全か?」と言う質問に対して、一言明白に「Yes」と答えている。